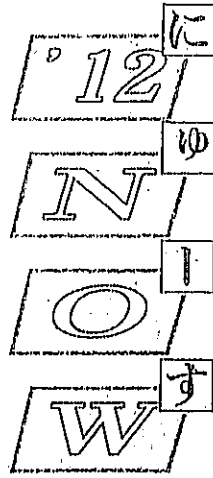


自然科学への扉に

奈良教育大学の今春の卒業生が卒業研究の一環で同大学付属幼稚園の敷地内に生息する虫の図鑑を作成した。インターネット上で活用できるデジタル版に加え、携帯し



やすい冊子版も発行。身近な生き物を通して、子どもたちの自然科学への興味を引き出す取り組みとして注目される。

(小幡直子)

奈教大卒業生・西野さん

「編集は大変だった。一緒に採集できたのがけど、園児に「虫のおともうれしかった」「ねえさん」と呼ばれて。というのは、図鑑を作

虫の図鑑を作成

成した元学生の西野愛美子さん(22)。西野さんは今、京都府福知山市内の小学校で4年生を担当している。

「卒論は虫をテーマに」との希望を持っていた西野さんは「虫博士」こと石田正樹教授の勧めで図鑑作りを決意。昨年4月から11月上旬に計32回、同園の園庭と敷地内にある森を訪ねて虫を採集。集めた160種以上の中から157種を図鑑に収録した。あえて昆虫に限定せず、クモ目やオオムカデ目など園児が「虫」と呼ぶものも加えた。

園児と採集、収録



「虫博士」こと石田教授(中央の男性)から「むしずかん」の説明を受ける園児=16日、奈良市高畑町の奈良教育大学付属幼稚園

デジタル版や冊子版

冊子版(A5判、151ページ、フルカラー)はデジタル版(<http://bio1-zukan3.nara-u.ac.jp/homepage01.html>)より、さらに子どもに分かりやすいよう文章を書き分け、

冊子版は同大学の理

数教育研究センターや学術情報センター研究開発プロジェクトなどの予算支援を受けて50部刊行。今春の卒業生と現在の年長組園児に配布し、付属小学校にも寄贈。西野さんが勤務する雀部小学校でも活用されている。新任教員として多忙な西野さんの状況が落ち替けば今後、同園で図鑑を活用した実践研究を展開する計画もある。西野さんは「理科